

デルタ株の感染拡大が行方を握る米中景気

ポイント① 減速懸念が強まる中国景気

8月16日に発表された中国の7月の鉱工業生産指数と小売売上高は、ともに減速しました。鉱工業生産指数は、河南省で発生した洪水被害や輸出の減速、半導体不足による自動車生産の減少を背景に、前年同月比+6.4%と6月の同+8.3%から減速、5か月連続で鈍化しました。他方で小売売上高は、新型コロナウイルスの感染再発を受けた移動制限で旅行や飲食などのサービス産業が打撃を受け、前年同月比+8.5%と6月の同+12.1%から減速、4か月連続で鈍化しました。

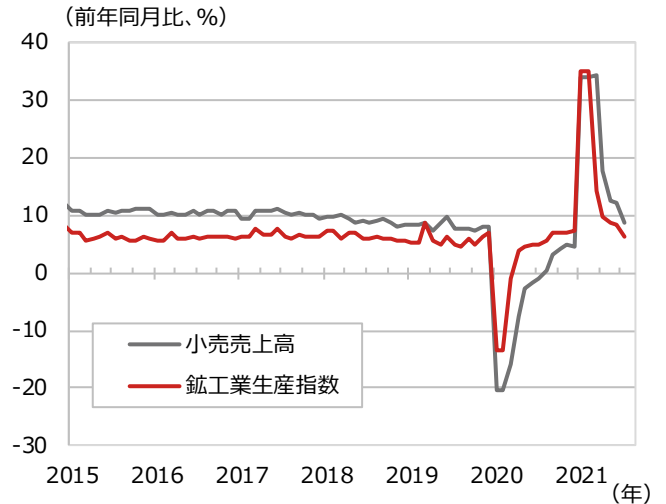
ポイント② 消費先に変化が見られる米国

翌17日に発表された米国の7月の鉱工業生産指数と小売売上高は、3か月連続で前年同月比の伸びが鈍化しました。小売売上高の伸び率は+15.8%と高水準ながら、6月からは減少し、市場予想も下回りました。半導体の供給不足で在庫薄となっている自動車関連が振るわず、衣料品関連も冴えませんでした。一方、旅行や飲食などのサービス消費は堅調でした。鉱工業生産指数は、夏休み返上で稼働日数を増やした自動車生産が下支えし、前年同月比+6.6%と堅調でしたが、6月の同+9.9%からは減速しました。

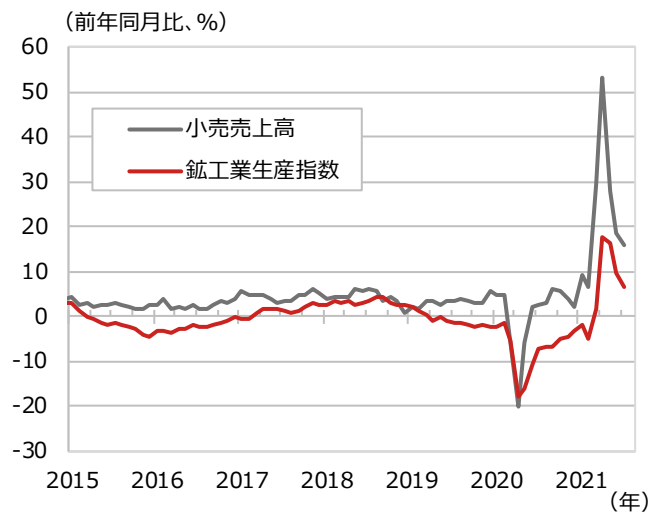
ポイント③ デルタ株の感染拡大に注意

既に中国では、デルタ株による移動制限が景気減速の大きな要因となっていますが、米国でも現在デルタ株の感染が急拡大しており、今後は回復しつつあるサービス売上が再び鈍化する可能性も想定されます。両国ともに、デルタ株の感染拡大は経済回復への重荷となっており、日々の感染状況や政府の感染対策を注視する必要があるようです。

中国の鉱工業生産指数と小売売上高



米国の鉱工業生産指数と小売売上高



**重要
イベント**

- 8月26日 米ジャクソンホール会議（28日までの3日間開催）
- 8月31日 中国製造業・非製造業PMI（購買担当者景気指数、8月）